

2023年6月30日
報道関係者各位

第11回「大東建託 賃貸住宅コンペ」募集開始 テーマは『震災復興のラストランナー 福島県双葉町』

大東建託株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長執行役員:竹内啓)は、今年で11回目となる「大東建託 賃貸住宅コンペ」(以下、本コンペ)を開催します。

本コンペは、「賃貸住宅が持つ魅力」をより多くの方と考えていきたいという思いのもと、2012年から毎年開催しています。第6回から第10回まで取り組んだ「仕組みと空間」の提案への挑戦は、さまざまな賃貸住宅のあり方を考える機会となりました。11回目の開催となる今回から5年間は、さらなるリアルを追求するため、テーマを「賃貸住宅コンペ まちへ出る」へリニューアルし、日本各地の街へ趣き、コンペを開催していきます。今回の開催地域は、東日本大震災によって甚大な被害を受けた福島県双葉町です。

作品の募集期間は7月1日～10月16日で、その後、1次・2次審査を経て来年4月に最終結果を発表する予定です。

<ポイント>

- 第11回目から5年間のテーマは「賃貸住宅コンペ まちへ出る」とし、日本各地でコンペを開催
- 今回は『震災復興のラストランナー 福島県双葉町』をテーマに町内に4カ所の敷地候補を決定
- 参加を通じて「学びとスキルアップ」したいという応募者の期待に応え、メンター建築家制度も導入



第11回「大東建託 賃貸住宅コンペ」メインビジュアル

■ 第11回賃貸住宅コンペ開催地域は、『震災復興のラストランナー 福島県双葉町』

東日本大震災後、約11年半に渡り避難指示が出ていた福島県双葉町は、昨年8月末、避難指示が解除されました。原発事故に伴って避難指示が出された12自治体のなかでは最後の解除となりました。しかし未だ、町民の多くは町に戻っておらず、町としてもこれからの姿を模索しています。

この町で「賃貸住宅」にできることは何か、双葉町の未来を創造し、これからの風景をつくり出す「賃貸住宅」の提案を募集します。

福島県双葉町HP: (<https://www.town.fukushima-futaba.lg.jp/>)



伊澤史朗 町長(左から3番目)を含めた集合写真

■ アイデア提案部門対象敷地は4カ所

今回のアイデア提案部門は、下記4つの対象敷地から好きなエリアを選んで参加いただきます。本コンペでは、今後ともコンペを一緒に開催いただける地域を募集していきます。
 <対象敷地>

- ①、② 双葉町駅西地区
- ③ 双葉町図書館
- ④ 双葉町立双葉北小学校



対象地域マップ(福島県双葉町)

■ メンター建築家制度の導入

コンペへの参加を通じて、「学びとスキルアップをしたい」という応募者の期待に応え、今回から新たに1次審査通過者に対して5組のメンター建築家によるエスキスを受ける機会をご用意しています。

- ・ 稲垣 淳哉 (Eureka(エウレカ))
- ・ 永井 雅子/根岸 龍介/若林 拓哉 (つばめ舎建築設計)
- ・ 進藤 強 (ビーフンデザイン)
- ・ 宇津木 喬行/高橋 良弘 (333architects)
- ・ 須藤 剛 (須藤 剛建築設計事務所)



稲垣 淳哉



永井 雅子/根岸 龍介/若林 拓哉



進藤 強



宇津木 喬行/高橋 良弘



須藤 剛

■ 「アイデア提案部門」「新たな賃貸スタイル部門」概要

コンペは2部門制となり、「アイデア提案部門」ではアイデアを、「新たな賃貸スタイル部門」では実際に完成した建築または完成予定のプロジェクトを募集します。

	アイデア提案部門	新たな賃貸スタイル部門
応募内容	福島県双葉町の未来を創造し、これからの風景をつくり出す「賃貸住宅」の提案	賃貸住宅の仕組みを工夫して空間のあり方や生活を変えているプロジェクト ※実際に完成した建築, または完成予定のプロジェクトが対象
応募資格	グループ・個人は不問	建築主、事業者、運営者、設計者など、どなたでも応募可能 ※予め建築主を含む関係者の了解を得るなど、著作権および著作権に問題がないこと
審査方法	2段階審査方式 1次審査で上位5作品を選出、「佳作」5作品を決定。2次審査で各賞を決定。	1段階審査方式
賞金 ※全て税込み	最優秀賞 200万円(1組) 優秀賞 100万円(1組) 入選 50万円(3組) 佳作 10万円(5組)	審査委員特別賞 30万円(2組)
登録・作品提出期限	2023年10月16日(月)	
提出物	A2サイズ(420mm×594mm、片面横使い1枚)の出力紙、PDFデータ(10MB以内)	応募者の情報、審査に必要な文字情報、画像、図面等
2次審査、表彰式	2024年2月24日(土) 於:都内会場にて予定	
最終結果発表	2024年4月1日(月)発行「新建築2024年4月号」および公式サイトにて発表	

■ 審査委員の紹介(敬称略)

審査委員長	重松 象平	(OMA NY 代表/九州大学BeCAT センター長)
審査委員	横川 正紀	(ウェルカムグループ 代表)
審査委員	林 厚見	(株式会社スピーク共同代表)
審査委員	瀬川 翠	(Studio Tokyo West 代表)
審査委員	竹内 啓	(大東建託 代表取締役社長)



重松 象平



横川 正紀



林 厚見



瀬川 翠



大東建託・竹内 啓

■ 「第11回 大東建託 賃貸住宅コンペ」概要

テーマ	: 『震災復興のラストランナー 福島県双葉町』
主催	: 大東建託株式会社
後援	: 株式会社新建築社
コーディネート	: 合同会社リトルメディア
公式サイト	: https://kentaku.shinkenchiku.net/

関連ニュースリリース

【SDGs×賃貸住宅】第10回「大東建託 賃貸住宅コンペ」テーマ決定

https://www.kentaku.co.jp/corporate/pr/info/2022/compe_20220401.html

■ 大東建託グループ概要

大東建託グループは、2019年より開始した中期経営計画「新5か年計画」において、「夢や将来を託せる企業、誇れる企業」を目標に掲げ、賃貸住宅専業から総合賃貸業を核とした「生活総合支援企業」を目指しています。社会の変化を成長の機会と捉え、特に注力すべき重要課題を「大東建託グループ 7つのマテリアリティ」に定め、グループ全体でサステナビリティ経営を推進しています。

今後も大東建託グループは、豊かな暮らしを支える企業として、ステークホルダーのみならず、事業活動の発展と持続可能な社会の実現に向け、取り組んでいきます。

<大東建託株式会社概要>

会社名	: 大東建託株式会社
所在地	: 東京都港区港南二丁目16番1号 品川イーストワンタワー
代表者	: 代表取締役社長執行役員 竹内啓
設立	: 1974年6月20日
資本金	: 29,060百万円
主要グループ会社	: 22社*
拠点数	: 639拠点*(主要グループ3社計)
従業員数	: 17,851名*(グループ連結)
事業内容	: 建物賃貸事業の企画・建築、不動産の仲介・管理、およびガス供給などの関連事業
Webサイト	: https://www.kentaku.co.jp/
決算情報	: 売上/1兆6,576億円、営業利益/1,000億円(2023年3月期)

※ 2023年3月31日時点

